

令和4年度 学校教育自己診断結果の概要

成果		課題とこれからの取り組み
生徒	<p>○「1.全般的に学校生活は楽しい。(91%)」「2.全般的に授業はよく分かる。(87%)」「3.学校生活の基本は毎時間の授業なので、大切にしたいと思っている。(83%)」「6.担任の先生には気軽に相談できる。(82%)」「8.学校生活について、先生の指導はよいと思う。(88%)」「9.自分が習っている先生のなかでは、指導の仕方ですいろいろ工夫している先生が多い。(88%)」の肯定的な回答が80%を超えており、学校生活における基本的な態度、学びに向かう姿勢を醸成し、教員との信頼関係を構築しているといえます。</p> <p>○「15.部活動に熱心に取り組む先生が多い。(91%)」「16.本校の生徒会活動は活発である。(91%)」「18.今年の体育大会では自分としては、一生懸命取り組みができた。(94%)」「19.今年のコーラスコンクールでは自分としては、一生懸命取り組みができた。(94%)」の肯定的な回答が90%を超えており、行事や部活動等の体験活動において自主的に取り組む姿勢が養われているといえます。</p> <p>○「11.学校では、人権の大切さについて学習する機会が多い。(92%)」「23.自分としては、清掃活動に積極的に参加している。(86%)」「26.いじめを見過ごしたり、いじめをしてはいけなと思っている。(98%)」「32.授業中に、友達どうしで協力したり、励ましあったりする場面がある。(91%)」「33.友達どうしでお互いの努力や成長を評価しあうことがある。(84%)」の肯定的な回答が80%を超えており、人権の大切さを学ぶことや仲間と協力して学ぶことやいじめを許さない正義感や清掃を積極的に行う公共心が育っていることがわかります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「30.授業の終わりの振り返りの時間に自分の考えをまとめたり、学んだことを確認したりしている(52%)」の肯定的回答が55%未満であったことから、これまでに引き続き、授業改善の観点で、<u>授業や単元の終わりに学んだことを振り返り、自らの考えをまとめることや演習を行います。また、学期終わりや進級時にすでに習った範囲の問題に取り組みさせるなどして振り返ることで定着させます。</u> ●「4.授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。(56%)」「24.ほのぼののフェスタや清掃活動等のボランティア活動には、積極的に参加したいと思っている。(60%)」の肯定的回答が60%以下であったことから、<u>授業での話し合いやまとめの結果を発表する場面や自主的に参加しようと思える活動を多く設けるようにします。</u> ●「5.授業中分からないことがあれば、気軽に質問をすることができる。(75%)」「7.担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる。(78%)」の肯定的回答が80%未満であったことから、昨年度に引き続き、<u>副担任がカウンセリング週間の面談や昼食指導を行うことや放課後学習で他学年の教員にも質問することができるようにします。</u> ●「27.読書を前向きに取り組んでいる。(69%)」「28.新聞学習を前向きに取り組んでいる。(76%)」「29.家庭での自主学習を前向きに取り組んでいる。(75%)」の肯定的な回答が80%未満であったことから、朝の読書、新聞学習、自主学習プリントの継続、キャリアパスポートを用いた自主学習の計画・振り返りを行い、<u>自ら学びを調整する力を養います。</u>
保護者	<p>○「7.学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。(82%)」「8.学校の生徒指導の方針には、納得している。(82%)」「9.学校は、保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。(88%)」「11.子どもの心身の健康については、気軽に相談できる。(82%)」の肯定的な回答が80%を超えており、教育方針や保護者からの相談の対応についての理解をおおむね得られていると考えられます。今後も保護者と協力して生徒の成長を促すことができる学校づくりを進めます。</p> <p>○「14.今後も少人数指導を継続してほしい。」「15.生徒が主体的・対話的に参加できる授業を行っている。」「19.子どもは、部活動に積極的に参加している。」「20.生徒会活動は、活発に行なわれている。」の肯定的回答が80%を超えており、学習指導や特別活動等の指導においても比較的高い評価を得ているといえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「2.学校では、特色のある教育活動が行なわれている。(64%)」「13.学校の少人数指導(3年の数学、2年・1年の英語)については効果が出ている。(60%)」の肯定的回答が65%に満たないことから、<u>生徒が物事に主体的に取り組み、成長できるよう家庭や地域の教育活動への参画を検討し、教育課程が特色のあるものにできるように見直しや工夫を行います。また、少人数授業では、単元末定着テストや授業での問題演習を行うなど授業の工夫改善により効果を感じられるよう学ぶ力を育成します。</u> ●「10.学校は、家庭への連絡や意志疎通をきめ細かく行っている。(78%)」「27.学校は、食育について取り組んでいる。(47%)」の項目から、<u>課題に取り組む生徒の学校での様子について学校だより、保健だよりなどの各種通信、電話連絡、家庭訪問を通じて密に家庭と連絡をとるなどして、学校と家庭が協力して生徒の成長を促すことができるようにします。</u>
教員	<p>○「2.先生方は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(100%)」「3.先生方は、一人ひとりの子どもをよく理解し適切に対応している。(100%)」「7.先生方は、日々授業改善や学力向上に取り組んでいる。(100%)」「13.学校は、防災や防犯等の危機管理について、生徒に学習する機会を設けている。(100%)」「16.学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。」「17.学校は、生徒の心身の健康について相談できる環境がある。」において肯定的な回答が95%を超えています。今後も生徒の人権、心身の健康を大切に、公正、公平に教育活動をすすめます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「㊸学校の施設・設備などの学習環境面についてほぼ満足している。(31%)」において、肯定的な回答が半数に満たなかったことから、<u>これまでの設備点検・修繕を行い、整備に取り組むとともに、老朽化による施設の傷みの激しい箇所について大規模な修繕がなされるよう要望を継続して行います。</u>